

ビオトープについての素朴な十の質問

ビオトープを日本語でいうと何ですか。

「野生生物の生活空間」「草木・虫・動物・人間などの生態系の構成員が共に生きていく空間」

人の手を加えた環境教育実践の場であることから「学校ビオトープ」というのが一般的です。

ビオトープで用いる水は普通の水道水ですか。

水道水です。学校ビオトープは、水道水が一般的ですが、将来的には雨水も考えたいです。水道水の補給も少しずつであれば、生き物に影響はありません。

ビオトープに害虫は発生しますか。もし発生したとしたらどうしますか。

蚊や毛虫類の発生が考えられますが、学校ビオトープは、学級園や花壇よりも多様な生き物が生息するようになります。生態系がつくられてくると、特定の生き物だけが大量に発生することはまずありません。

池の周辺に植える草花や水草はどこからどのように準備されるのですか。

ビオトープ作りはガーデニングではありませんので、特別な準備はしません。学習の一環として、許可を頂いて、多摩川の水辺や地域の休耕田や林等から土をもらって来てまくということは考えています。

人工的に持ち込むものには何がありますか。

地域に生息する黒メダカやプールのヤゴを導入。樹木として、ナンテンやヤマモモ、ネズミモチなど実がなり、鳥が来る可能性のあるものを植栽します。

ビオトープに自然発生するものとして、何が考えられますか。

鳥や虫や風が種子を蒔き、地域に生息する生き物がやってきます。何が自然発生するかわかりません。

何種類の生物が生息する予定ですか。

何種類とは答えられませんが、チョウ・バッタ・トンボ・水生昆虫・両生類・メダカ・鳥等の生息を願っています。

ホタル見物ができるようになりますか。

可能性は低いと考えられます。ホタルは流れのある水辺や暗いところを好みます。幼虫のえさとなるカワニナは入れることができますが、むずかしいと考えます。

ビオトープ観察日記のようなものを作りますか。

各学年がビオトープを学習材とすることで、ある期間や季節ごとに作ることはあるでしょう。また、定期的な維持管理や観察を目的にビオトープ委員会の立ち上げも考えられますが、今後の課題です。

ビオトープが富士見丘小の子どもたちに与えるもっとも大きな影響は何ですか。

地球環境の向上に貢献しようとする共生する力が育つこと